

(論文)

労災補償と失業補償から生み出される適正価値

— J. R. コモンズの労働政策論と制度経済学 —

Reasonable Value Generated from Accident Compensation
and Unemployment Compensation

— J. R. Commons' Theory of Labor Policy and Institutional Economics —

高橋 真悟

Shingo Takahashi

要旨

コモンズは労災補償において、災害の「補償」よりも「防止」(予防)を重視した。失業補償についても、使用者の労働者に対する雇用提供期間に応じて保険料率を逆進的に設定し、失業の「補償」よりも「防止」(予防)を重視した。こうした労働政策論は、安定的雇用に基づく賃金や、労使間の有益な相互関係である「グッドウィル」を形成して期待利潤を高め、景気循環に影響を与えるという特徴や、使用者責任の保険が信用膨張を抑える特徴をもつ。これらが労使交渉を通じて達成されることで、経済・社会を安定へと導く適正価値を生み出す。

キーワード： 労災補償 失業補償 グッドウィル 期待利潤 適正価値